

# 暖房器具の取扱いにご注意！

毎年、冬に暖房器具による火災が多く発生していますが、特に今年の冬は節電対策のため石油ストーブを使用する機会が増え、石油ストーブによる火災の発生が懸念されています。

また、しばらく物置等の奥にしまっておいた石油ストーブを再び使用する際には特に注意が必要です。使用する前には必ず点検整備をし、取扱説明書をよく読んでから正しく安全に使用しましょう。故障かなと思ったら、販売店等に点検・修理を依頼してください。

## 使用する際の注意事項

- 石油ストーブの燃料缶のふたは確実に閉めましょう。
- 石油ストーブの燃料は灯油です。ガソリンは絶対に入れないでください。
- 暖房器具の周りに燃えやすい物を置いたり、洗濯物を干さないでください。(こたつの中に洗濯物を入れて乾かしたりすることも火災の原因となります。)
- 暖房器具の近くにスプレー缶などを置いたり、暖房中の部屋でスプレー缶など可燃性ガスが出るものは使用しないでください。
- 火をつけたままの給油は大変危険です。火を消してから給油しましょう。
- 就寝時、外出時には、必ず消火を確認しましょう。



## 危険物の保管

- 灯油用の容器は金属製のもの、またはポリエチレン製で適合性の推奨ラベルもしくは認定証が貼付されているものを使用し、必ず栓をしっかりと締めて密閉してください。
- 容器は火気を使う場所から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所に保管してください。
- 地震時に容器が転倒したり、落下物によって容器が破損したりしないようにしてください。